

## 授業科目

## 日常生活活動学実習I

担当教員名 貝淵 正人、外川 佑、藤目 智博	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

## 授業の概要

片麻痺患者を例に、片麻痺患者の各動作の特徴を知り、動作分析方法を学びながら、FIMやBIの利用方法を習得する。臨床応用として、実際の片麻痺患者の方にご協力いただき、ADL評価を実施する。

## 授業の目的

日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。

## 学習目標

1. 健常者の基本動作の特徴を分析することができる。
2. ADL評価を的確にできる。
3. クライアントのADLを正しく観察することができる。
4. 対象者に真摯な態度で接し、正しく安全に介助することができる。
5. 対象者の予後を想定し、OTプログラムを立案することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ADL評価法	実習 貝淵	貝淵 正人
2	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
3	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
4	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
5	移動動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
6	食事・整容動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
7	更衣動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
8	トイレ動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
9	入浴動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
10	生活関連活動 支援方法を含む	講義・演習	貝淵 正人
11	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
12	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
13	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
14	片麻痺患者のADL	講義・演習	貝淵 正人
15	片麻痺患者のADL	講義・演習	貝淵 正人

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ADLとその周辺 第3版	伊藤利之、鎌倉矩	医学書院	2016	6,000円+	

		子		年	税	
参考書	イラスト わかりやすい移動の仕方 第4版	井口恭一	三輪書店	2015年	4,410円	
	動作分析 臨床活用講座	石井慎一郎	メディカルビュー社	2013年	5,600円+税	
その他の資料						

#### 評価方法

期末試験を評価とします

#### 履修上の留意点

動きやすい服装で参加すること。  
対象者と接する場合には医療従事者らしい真摯な態度で臨むこと。

#### オフィスアワー・連絡先

貝淵 火・木 14時～17時 kaifuti@nuhw.ac.jp